

## ◇◇◇〔情報等の交換に係る協力活動〕◇◇◇

### ○緊急被ばく医療処置訓練見学会

「緊急被ばく医療関連情報連絡会」が平成25年度活動の一環として開催する緊急被ばく医療処置訓練見学会について、東海ノア協定に基づく「情報等の交換に係る協力活動」の一環として、加盟事業所の参加者を募り連絡会に同行する形で緊急被ばく医療処置訓練見学会を開催しました。

〔開催日時〕 平成26年3月6日（木） 13時30分～16時30分

〔見学場所〕 核物質管理センター東海保障措置センター及び茨城東病院

〔見学会参加者〕

- ① 原子力事業所による応急処置訓練（核物質管理センター）  
40名（東海ノアからは 4名／4事業所）（東海ノア事務局を除く）
- ② 医療機関による医療措置訓練（茨城東病院）  
34名（東海ノアからは 4名／4事業所）（東海ノア事務局を除く）

〔訓練見学会概要〕

緊急被ばく医療処置訓練は、緊急被ばく医療に関する契約書に基づき実施する訓練で、今回は、核物質管理センターの新分析棟ウラン化学分析室（放射性物質取扱区域）にあるヒュームフード内で、作業者が破損したピーカーにより左手肘下部を切創し、わずかな放射性物質が付着したとの想定事象に基づき、①原子力事業所による応急処置、②消防機関による搬送、③医療機関による医療措置の訓練が実施されました。

見学会参加者は、核物質管理センター会議室で概要説明を受け、放射性物質取扱区域に見立てた同会議室での除染を含む応急処置、救急車への搬送及び医療機関での汚染防護のための養生状況、受傷者に対する医療スタッフの汚染防護衣を着用した医療処置などの訓練について、見学することができました。

訓練の様子



核管センターでの訓練の様子



消防機関による搬送訓練の様子



医療機関での訓練の様子